

コミュニティだより



QRコードからも
アクセスOK! ↑



■ 戸塚区汲沢1-16-1 TEL・FAX/864-6632

■ ホームページ・<https://community.chiiki-support.jp/higashigumisawa> ← カラー版もご覧ください!

2023年を締めくくる12月号は自主事業の報告と「子どもSOSの本」の話題でお楽しみください!

～ 子どもたちにも読んでもらいたい「子どもSOSの本」とは? ～

子どもの「いのち」を守るため、子どもが読んでも理解できる、いじめ・児童虐待・防犯等の児童書を「子どもSOSの本」と名付け、戸塚図書館では積極的に収集されています。今回、当館に4冊寄贈されましたのでご紹介します。



いじめられたらどうしよう

ジェン・グリーン/ぶん マイク・ゴードン/え
たなかまや/やく 評論社

ぼくはいじめられると、おなかがりきりきりしたくなる。でも、いやな時は「いやだよ」と言うし、自分の得意なことを考えて知らん顔しちゃおうっていう手もあるよ。



うちに帰りたくないときによむ本

川崎二三彦/監修 北原明日香/絵
少年写真新聞社

ぼくが公園で出会ったあいつ。お父さんが暴力を振るうから、帰りたくないんだって。実はぼくも、離婚したお母さんの元気がなくて帰りたくないんだ。



きをつけなくちゃ!

なかやみわ/作・絵 ミキハウス

くまの男の子くうびいは、知らない人に声をかけられて、「いやだ! 怖い!」と思ったら、大きな声で叫ぶことをママと約束します。



あぶないときはいやです、だめです、いきません

子どもの身をまもるための本

清永奈穂/文 石塚ワカメ/絵 岩崎書店

「あぶない人がこわいことをする」って言うけど、考えてもよく分からない。そこでお母さんに聞いてみたら、具体的に教えてくれたよ。

子どもを守るのは、身近にいる大人たちです。子どもたちをどうしたらいじめや犯罪から守れるのか? 子ども自身が自分の身を守る方法とは? 日々悲しいニュースが流れてきますが、他人事ととらえず、大人にもぜひ読んで頂きたい本です。子どもが読むことで様々な危機に気づき、つらいこと、怖いことに声を上げる勇気を持ってもらいたいと願います。

～ 来場者はみんな大はしゃぎ! 「おどりばハロウィン」～



今年は開催日がひぐみオリンピックの翌日だったこともあり、ひぐみこたちの参加は多いといえなかつたものの、毎年恒例の「おどりばハロウィン」には、小学生や乳幼児と保護者の皆さんがたくさん訪れ、研修室2を使った会場で工作や写真撮影を楽しんでいました。



～ やっぱり一味違う通常開催！「ひぐみコミハFES」～

2023年の「ひぐみコミハFES」はコロナ禍以来の通常開催でした。「作品展」が「静」とするならば、「フェスティバル」は「動」。久しぶりのステージパフォーマンスでは、来館して下さった方々と、参加サークルの皆さんが一体となり、とても楽しい雰囲気となりました。もちろん華道や書道の作品展示や、焼き菓子販売・バザーも大盛況。他にも囲碁・将棋の体験や喫茶コーナーなど、内容も盛りだくさんのイベントとなりました。



～ 大好評につき、第2期も開催決定！「健康麻雀ひろば」～

自由にプレーできるスタイルが大好評だった「ひぐみコミハ健康麻雀ひろば」も、11月に惜しまれつつ最終回を迎えました。参加者の皆さんにはアンケートを実施しましたが、ほぼすべての方が継続的な実施をリクエスト。そして当館ではこれを受け、第2期の開催が決まりました。期間は2024年1月～3月まで、月に1度・全3回の実施です。集まった人がみんな笑顔になれる楽しいひと時を、「ひぐみコミハ健康麻雀ひろば」で体験してみませんか？



～ 年末年始休館のお知らせ ～

年末年始の休館日＝12/29（金）～1/3（水）

3月分の利用予約は1月4日（木）より受け付けを開始します。
※コミュニティだより次回の発行は2月（3月号）の予定です。



みんなで行こう！ひぐみコミハ

★ 交通アクセス ★

- 市営地下鉄をご利用の場合
「踊場駅」より徒歩15分
- バスをご利用の場合
戸塚駅西口「戸塚バスセンター」より
神奈中バス
 - ・汲沢団地行「戸塚高校前」下車徒歩5分
 - ・上飯田団地行または弥生台駅行「日産前」下車徒歩10分

※詳しくはホームページをご覧ください